





③ 防水改修工事 続

屋根露出防水
高日射反射率防水の適用 [G] ・有 ※無
防水層の種類
表3.4.2.2

脱気装置の種類及び設置数量
※アスファルトルーフィング類製造の指定による
脱気装置の種類： ・設置数量： m/個

屋上防水
表3.4.2.3
表3.4.2.4

改質アスファルトシート防水
表3.4.2.5
表3.4.2.6

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準表3.4.1から表3.4.3による

高日射反射率防水の適用 [G] ・有 ※無
防水層の種類
表3.4.2-4、表3.5.1-3

③ 防水改修工事 続

⑧ 塗膜防水

⑨ シーリング

10 とい

11 アルミニウム製室木

⑫ 保証書及び期間

4 外壁改修工事

屋内防水
表3.6.2.3

表3.6.2.3
表3.7.2-8

シーリング材の目地法
※改修標準表3.7.3(a)(1)～(3)による
表3.7.8

表3.8.2.3
表3.9.2.3

ロックワール保温層及びフェノールフォーム保温層のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外

表3.9.2.3

表3.9.2.3
表3.9.2.3

4 外壁改修工事

4-1 外壁改修工事

4-2 外壁改修工事

4-2 外壁改修工事

4-2 外壁改修工事

4-2 外壁改修工事

4-2 外壁改修工事

ポリマーセメントスラリー
表4.2.2
表4.2.2

表4.2.2 [4.3.4-6]
表4.2.2 [4.3.7]

表4.2.2 [4.3.7]
表4.2.2 [4.4.5-7]

表4.2.2 [4.4.8-9]
表4.2.2 [4.4.10-15]

表4.2.2 [4.4.10-15]

4-2 (続)

4-3 外壁改修工事

4-3 外壁改修工事

4-3 外壁改修工事

4-3 外壁改修工事

4-3 外壁改修工事

アンカーピン
表4.2.2

表4.2.2 [4.5.5, 6]

表4.2.2 [4.5.7, 8]

表4.2.2 [4.5.9-15]

表4.2.2 [4.5.9-15]

4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁(続き)	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※改修仕様表4.5.11による タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない ・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良接着張り ・ 改良種上げ張り 外装ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・有機系接着剤による陶磁器質タイル張り シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・ 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコン系 ・	5 目地改修工法 [4.5.16]	6 タイルの形状、寸法等 [4.2.2]	形状/寸法 吸水率による区分 うわすり 役物 色 再生材の 耐凍害性 耐汚
				施工箇所 (mm) 1種 2種 3種 4種 5種 6種 7種 8種 9種 10種 11種 12種 13種 14種 15種 16種 17種 18種 19種 20種
4-4 外壁改修工事 現場試験	1 浮き部改修工法におけるエポキシ樹脂注入後の接着強度の試験 ※行う ・ 行わない [4.4.10] [4.4.11] [4.4.12]~[4.4.14] 1. 試験方法 ① 試験箇所は、監督職員の指示により1棟につき1箇所以上かつ合計で3箇所以上を選び引張試験を行う。 ② 注入後7日間以上たつてから、モルタル約40mm角又は内径40mmに筒体(コンクリート)に達するまでコンクリートカッター又はコアカッターで切断し、その面に引張浴具(アタッチメント)を接着し、建設省建築研究方式簡易引張り試験機又は日本建築士学会試験機により引張試験を行う。 2. 確認事項 引張強度試験終了後、次のいずれかであることを確認する。又、試験終了後、試験体の切断が筒体に通ずるまで行われていたかを確かめて確認する。なお、異常が認められた場合は監督職員へ報告し、その指示を受ける。 a コンクリート破壊 b モルタル破壊 c 引張り強度 ①アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法の場合 ②注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法の場合 1.2N/mm <sup>2</sup> [12.2kgf/cm <sup>2</sup> ]以上 ③アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法のエポキシ樹脂注入の箇所 ④注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法のエポキシ樹脂注入の箇所 0.6N/mm <sup>2</sup> [6.1kgf/cm <sup>2</sup> ]以上 ⑤アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法のピン併用エポキシ樹脂注入の箇所 1.2N/mm <sup>2</sup> [12.2kgf/cm <sup>2</sup> ]以上	2 浮き部改修工法におけるポリマーセメントスラリー注入後の接着強度の試験 ※行う ・ 行わない 1. 試験方法 ① 注入箇所を養生完了後、打診ハンマーを用いて打診する。 ② 上記打診状況により、4～4層1項による建設省建築研究方式簡易引張試験機又は日本建築士学会試験機により接着力試験を行う。試験箇所は、監督職員の指示により、1棟につき1箇所以上選びだす。 (1箇所につき3点の試験を行い、その平均値を接着強度とする。) 2. 確認事項 ① 注入が良好な状態で行われているかを確認する。 ② 接着強度は1.0N/mm <sup>2</sup> [10.2kgf/cm <sup>2</sup> ]以上とする。		
4-5 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁(続き)	4 仕上げ塗材仕上げ 建築物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [4.2.2] [4.6.5] ※規制対象外 ・ 新規仕上塗材に種類 ○ 図示	5 マスチック塗材塗り [4.7.2] [表4.7.1]	6 外壁改修数量表	種類 ・ A種 ・ B種 (仕上材塗りEP-G ※B種 ・ A種)
4-5 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁(続き)	5 1 改修工法 [5.1.3]	2 防火戸 [5.1.4]	3 防犯建物部品 [5.1.7]	4 アルミニウム製建具 [5.2.2]~[5.2.5] [表5.2.2]
4-5 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁(続き)	1 所要量の確認 [4.6.2] [表4.6.1]	2 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 [4.6.3]	3 下地調整材 [4.6.4]	

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・薄付け仕上塗材	・外装塗材S1 ・可とう形外装塗材S1 ・外装塗材E ・可とう形外装塗材E ・防水形外装塗材E ・外装塗材S	・砂壁状 ・ゆず肌状(・吹付け・ローラー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状(・吹付け・こて塗り) ・着色骨材砂壁状(・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく	
・厚付け仕上塗材	・外装塗材C ・外装塗材S1 ・外装塗材E ・複層仕上塗材 ・複層塗材CE ・複層塗材S1 ・複層塗材E ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RS ・防水形複層塗材R	・吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし ・上塗材 ・ 適用する ・ 適用しない ・ゆず肌状(・吹付け・ローラー塗り) ・凸部処理 ・ 凹凸状 耐水性 ※ 耐候形3種 上塗材 溶媒 ※水系 ・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック	
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状 耐水性 ※ 耐候形3種 上塗材 溶媒 ※水系 ・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック	
工法	単位	寸法等	既存仕上げ
樹脂注入工法	m	0.2mm以上 1.0mm以下	コンクリート モルタル タイル
充填工法(※樹脂材)	箇所	・100×100×30 ・100×200×30	コンクリート モルタル タイル
7/8/9/10/11/12/13/14/15/16/17/18/19/20/21/22/23/24/25/26/27/28/29/30/31/32/33/34/35/36/37/38/39/40/41/42/43/44/45/46/47/48/49/50/51/52/53/54/55/56/57/58/59/60/61/62/63/64/65/66/67/68/69/70/71/72/73/74/75/76/77/78/79/80/81/82/83/84/85/86/87/88/89/90/91/92/93/94/95/96/97/98/99/100			

5 6 樹脂製建具	性能等級 [5.2.2] [5.3.2]~[5.3.5]	5 7 鋼製建具	性能等級 [5.2.2] [5.4.2]~[5.4.4] [表5.4.2]
5 8 ステンレス製建具	性能等級 [5.2.2] [5.4.2] [5.6.2]~[5.6.5]	5 9 木製建具	性能等級 [16.7.2]~[16.7.4]
5 10 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 11 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 12 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 13 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 14 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 15 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 16 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 17 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 18 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 19 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 20 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 21 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 22 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 23 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 24 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 25 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 26 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 27 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 28 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 29 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 30 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 31 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 32 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 33 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 34 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 35 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 36 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 37 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 38 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 39 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 40 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 41 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 42 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 43 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 44 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 45 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 46 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 47 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 48 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 49 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 50 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 51 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 52 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 53 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 54 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 55 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 56 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 57 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 58 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 59 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 60 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 61 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 62 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 63 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 64 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 65 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 66 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 67 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 68 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 69 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 70 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 71 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 72 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 73 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 74 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 75 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 76 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 77 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 78 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 79 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 80 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 81 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 82 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 83 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 84 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 85 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 86 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 87 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 88 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 89 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 90 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 91 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 92 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 93 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 94 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 95 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 96 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 97 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 98 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 99 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]
5 100 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]	5 101 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2] [5.5.2]~[5.5.4]

5 10 建具用金物	・マスターキー ※製作する(※新規 ・ 既存にあわせる) [5.7.2]~[4] [表5.7.1] ※リジダー指錠 ※レバーハンドル 材質 ※アルミニウム合金 ・ ステンレス ・ 黄銅 産金 ※丸産 ・ 長産 ・ 握り玉 材質 ※ステンレス ・ 本締り錠 (性能) 建築材料等品質性能表による ・ 錠錠 ※レバーハンドル 材質 ※アルミニウム合金 ・ ステンレス ・ 黄銅 産金 ※丸産 ・ 長産 ・ 握り玉 材質 ※ステンレス ・ グレモン錠 レバーハンドルの材質 ※亜鉛合金 ・ ステンレス 製造所 ※図示 ・ ビボットピン カバー部の材質 ※ステンレス ・ 亜鉛合金 ・ フロアピン カバー部の材質 ※ステンレス ・ ヒンジローラー(丁番型) 材質 ・ 鋼(焼付け塗装) ・ ヒンジローラー(ビボット型) 材質 ・ 鋼(焼付け塗装) ・ ドアクローザー Grade1 ※Grade2 材質 ※アルミニウム合金 ・ 押棒、押板 材質 ・ ステンレス ・ 黄銅 ・ 合成樹脂 ・ アームストッパー 材質 ・ 鋼(クロームめっき) ※ステンレス ・ クレセント 材質 ※建築製造所の仕様による ・ 押棒オペレーター(※埋込 ・ 露出)	5 11 自動ドア開閉装置 [5.8.2.3]	性能等級 [5.8.2.3]
5 12 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 13 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 14 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 15 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 16 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 17 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 18 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 19 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 20 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 21 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 22 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 23 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 24 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 25 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 26 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 27 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 28 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 29 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 30 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 31 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 32 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 33 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 34 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 35 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 36 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 37 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 38 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 39 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 40 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 41 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 42 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 43 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 44 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 45 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 46 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 47 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 48 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 49 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 50 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 51 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 52 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 53 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 54 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 55 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 56 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 57 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 58 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 59 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 60 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 61 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 62 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 63 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 64 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 65 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 66 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 67 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 68 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 69 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 70 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 71 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 72 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 73 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 74 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 75 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 76 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 77 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 78 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 79 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 80 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 81 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 82 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 83 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 84 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 85 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 86 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 87 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 88 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 89 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 90 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 91 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 92 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 93 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 94 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 95 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 96 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 97 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 98 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 99 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]
5 100 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]	5 101 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2.3]

5 建築改修工事(続) 16 ガラス

・図示	[3.7] [5.13.2~4] [表5.13.1]	
・熱線吸収ガラス		
種類	性能	色調
・熱線吸収フロートガラス	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ
・熱線吸収網入りガラス		
・複層ガラス		
種類	断熱性	日射熱減へい性
・断熱複層ガラス	・1種	U-1
	・2種	U-2
	・3種	U-3-1 ・ U-3-2
・日射熱減へい複層ガラス	・4種	E4
	・5種	E5
・熱線反射ガラス		
種類	日射熱減へい性	耐久性
・熱線反射ガラス	・1種	A種
色調 (・ブルー ・グレー)	・2種	A種 ・ B種
・高性能熱線反射ガラス	・3種	B種
色調 (・ブロンズ ・シルバー)		
反射係数	・内面 ・外面	
映像調整	・行わない ・行う	
・耐熱強化ガラス		
材料ガラスの種類	厚さ (mm)	色調
・熱線吸収タイプ		・グリーン ・グレー ・ブロンズ
・熱線反射タイプ		・ ( )
・倍強度ガラス		
材料ガラスによる種類の名称		色調
・フロート倍強度ガラス		—
・熱線吸収倍強度ガラス		・ブルー ・グレー ・ブロンズ
ガラスの留め材及び溝の大きさ		
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)
アルミニウム製	※シーリング材 (SR-1) ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※改修標準仕5.13.11による ・図示
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材 (SR-1)	※改修標準仕5.13.11による ・図示
ステンレス製	※シーリング材 (SR-1)	※改修標準仕5.13.11による ・図示
形式	・30本入 ( ) 個 ・60本入 ( ) 個 ・120本入 ( ) 個 ・本入 ( ) 個	
鋼製市販品とし、監修職員の承認による		

17 鏡箱

6 造作用集材材 [G] ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 (6.5.2)

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
				※1等 ・2等
・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材				
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質
				※1等 ・2等
・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集材材				
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	間伐材等の適用
				※1等 ・2等
・「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材				
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下
・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集材材				
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質
				含水率
				※15%以下

7 造作用単板積層材 [G] ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 (6.5.2)

施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用
		・無し (加工 ・天然木加工 ・塗装加工)	・適用する	・
・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材				
施工箇所	厚さ (mm)	表面の品質	防虫処理	含水率
		・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工)	・適用する	※14%以下
		・無し ( )	・適用しない	・
・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材				
施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接合の程度	板面の品質
	※5.5	・珧 ・しな	※1種 ※2種以上・1等	広葉樹 針葉樹 ※C-D以上
				・適用する ・適用しない
・構造用合板 [G]				
施工箇所	厚さ (mm)	等級	表板の樹種名	接合の程度
	※12	※2級以上 ・1級	※1種 ・特種	※C-D以上
				・有効断面係数比
				・防虫処理
				・強度等級
				・間伐材等の適用

8 床張り用合板等 [G] ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 (6.5.2)

施工箇所	厚さ (mm)	等級	表板の樹種名	接合の程度
	※12	※2級以上 ・1級	※1種 ・特種	※C-D以上
				・有効断面係数比
				・防虫処理
				・強度等級
				・間伐材等の適用

9 接着剤 [6.5.3, 4] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]

接着剤は可塑性 (難揮発性の可塑性を除く) が溶けられないものとする。  
ホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外  
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類  
・図示

10 防霉・防蟻処理 [6.5.5]

・防霉、防蟻処理が必要な樹種による製材  
適用部位: ( )  
・薬剤の加圧注入による防霉、防蟻処理  
適用部位 ( )  
保存処理性能区分  
・ K 2 ・ K 3 ・ K 4

・薬剤の塗布等による防霉、防蟻処理  
適用部位 ( )  
処理の方法  
※改修標準仕5.5.5(a)(iii)②7~11による  
※改修標準仕5.5.5(a)(iii)②7~11による  
※改修標準仕5.5.5(a)(iii)②7~11による

11 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2~4]

野縁等の種類  
屋外 (※25形 ・19形) 屋内 (※19形 ・25形)  
・屋外の軒天井、ピロティ天井等  
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・900程度 ( )  
周辺部の幅からの間隔 ・図示  
野縁の間隔 ・300程度 ( )  
既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない  
あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う (屋外の試験荷重: ) ・行わない  
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合  
補強方法 ※図示  
・天井のふところ高が1.5m以上3.0m以下の場合  
補強方法 ※改修標準仕6.6.4(n)(1)(2)による

12 軽量鉄骨壁下地 [6.7.3] [表6.7.1]

・天井のふところが3.0mを超える場合  
補強方法 ※図示  
・屋内外への耐震補強  
・行う ※行わない  
補強箇所 ※図示  
補強方法 ※図示  
・耐震圧性を考慮した補強  
・行う (1.一般共通事項 3.品質計画による) ※行わない  
補強箇所 ※図示  
補強方法 ※図示  
スタッド、ランナーの種類  
※改修標準仕6.7.3によるスタッドの高さによる区分に応じた種類  
スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示

13 ビニル床シート [6.8.2.3]

種類	JIS記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考
※発泡層のないもの	※FS (複層ビニル床シート)		・無地 ・ネグ・柄	・帯電防止 ・耐動荷重性	※2.0 ・2.5	
・発泡層のあるもの			・無地 ・柄物	・防汚性 ・耐汚性		

工法 ※熱溶接工法 ・突付け (施工箇所: )  
特殊機能  
帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満  
又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10<sup>10</sup>~1×10<sup>11</sup>Ω程度

14 ビニル床タイル [6.8.2]

JIS記号	施工箇所	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考
・FT (複層ビニル床タイル)		・無地 ・柄物	※300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防汚性	※2.0 ・3.0	
※KT (20°リブ付ビニル床タイル)		・無地	※300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防汚性	・2.0 ・3.0	
・TT						
※FOA (度敷きビニル床タイル)		・無地 ・柄物	※500×500	・帯電防止 ・防汚性	※4.0 以上	
・FOB						

特殊機能  
帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満  
又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10<sup>10</sup>~1×10<sup>11</sup>Ω程度

置敷形ビニル床タイル (FOA・FOB) の接着剤は粘着はく離形とし、製造所の指定する製品とする  
・帯電防止ビニル床タイル (n°付一体型) 下記に示す製造所の商品程度とする  
( )  
・耐熱性ビニル床タイル 下記に示す製造所の商品程度とする  
( )

15 ビニル幅木 [6.8.2]

材質 ※軟質 ・硬質  
高さ (mm) ※60 ・75 ・100  
厚さ (mm) ※1.5以上  
・タイルカーベット

16 カーベット敷き [G]

バイエル形状	種類	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備考
※ループバイエル	※第一種 ・第二種		・500×500	※6.5	
・カットバイエル	・第一種 ・第二種		・500×500	※6.5	帯電防止及び防汚加工品
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		・500×500	※6.5	

色柄 ※無地 ・柄物  
タイルカーベットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様敷き  
階段部分 ※模様敷き ・市松敷き  
見切り、押え金物 ・適用する (材質、形状等 ※図示) ※適用しない

17 合成樹脂塗床 [6.10.2.3]

・図示

種類	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性付樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ
※厚膜型塗床材 珪砂樹脂系塗床		※薄膜塗し重ね工法 ・厚膜塗し重ね工法 ・樹脂珪砂工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ
・薄膜型塗床材 珪砂樹脂塗床 (JIS K 5970)			工法 塗布量 (kg/m <sup>2</sup> ) ・表面仕上げ ・平滑 ・防汚 溶剤 ・水性色 ・溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色

塗床のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外

18 フローリング張り [6.11.2~6] [表6.11.1~5]

種類	工法	樹種	厚さ (mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用
・70-リブ'ア' 1等	・釘留め工法 (複大張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら	15	板幅75 板長さ500以上	・塗床材 ・無塗床材	・
・70-リブ'ア' 1等	・接着工法	※なら	15	303×303	・塗床材 ・無塗床材	・
・'キ' 'バ' 'ナ' 1等	・接着工法				・塗床材 ・無塗床材	・

19 畳敷き [6.12.2]

種類 ・A種 ・B種 ※C種 ・D種 (畳床: KT-1 ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) [6.12.2]  
下地の種類 ※ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフローリング)  
・仕様 表12.6.1による床組  
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用しものとする [6.12.2.3]

種類	JIS記号	厚さ (mm) ・規格等
・硬質木毛セメント板 [G]	HW	・15 ・20 ※25
・普通木毛セメント板 [G]	NW	・15 ・20 ※25
○けい酸カルシウム板	0.0FK 1.0FK	・突付け ○目隠し タイプ2 (無石綿) ※6 ・8
○ロックウール化粧巻板	DR	※突付け ○フラットタイプ ○9 (不燃) ※12 (不燃) ( ) ○凹凸タイプ ( ) ・ (12 (不燃) ) ○15 (不燃) ・19 (不燃) ( ) ※300×600 ・455×910
・せっこうボード	GB-R	※突付け (ベベルエッジ) ・継目処理 ※12.5 (不燃) ・15 (不燃) ※910×2730 ・910×1820
・グラスウール吸音ボード32K	GB-B	※25 (厚手グラスクロス包) ※ 壁め付け材 樹脂製プラグ@300程度
○不燃種せっこうボード	GB-NC	※突付け ※9.5 (不燃) ○化粧無 (下地張り用) ・化粧有 (トラバーチン模様) ※450×910 ・910×910
・シーリングせっこうボード	GB-S	・12.5 (不燃)
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)
・化粧せっこうボード (木目)	GB-D (木目)	※目隠し ・12.5 (不燃) 幅440mm程度 ※9.5 模様 (※柱目 ・板目) 専用下地材有り JIS K 6903 による (※1.2)
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による (※1.2)

せっこうボード等の下地は図示による  
遮音シール材 ※アクリル系またはウレタン系シーリング材  
・ジョイントパウンド (JIS A 6914)  
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放数量  
※規制対象外  
合板類の板付け ※B種 ・A種  
ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 [6.14.2.3]

施工箇所	紙	繊維	フシ	無繊維	その他	防火種別	商品名 (程度)
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	

モルタル、プラスター面の地下調整 ※R種  
コンクリート、ALC面の地下調整 ※R種  
せっこうボード面の地下調整 ※R種

22 モルタル床 [6.15.3.6]

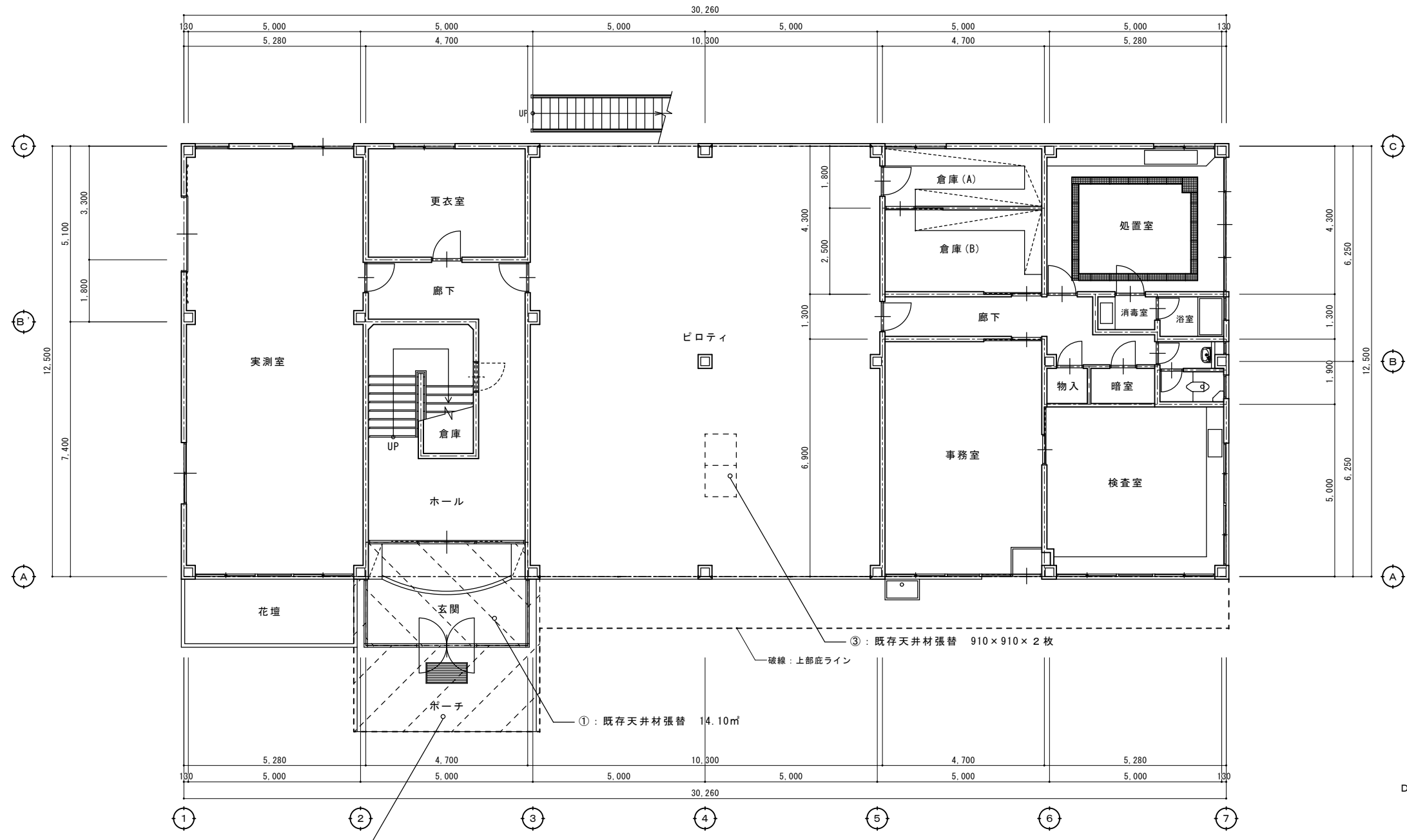
吸水調整材は、改修標準仕4.2.2.1による  
既製目地材 ・設ける 施工箇所 ( ) 形状 (※図示) ( )  
床目地 ・設ける (工法 ※押し目地) ( )  
・設けない

23 タイル張り
伸縮調整目的位置 床タイル (※縦、横とも4m以内ごと・図示)
床タイル以外 (※図示)
・セメント目地による陶磁器質タイル張り
タイルの形状、寸法等
表6.16.2-4

27 移動間仕切
(20.2.4)
構造形式 操作手法 圧縮装置の操作手法 総厚さ (mm) 表面仕上材
28 トイレブース
(20.2.5)
表面材の種類 色柄 脚部 形状 ドアエッジ、形状
29 視覚障がい者用床タイル
(11.2.2) (19.2.2)
施工箇所 種類 寸法 (mm) 厚さ (mm)
30 階段滑り止め
(20.2.6)
材料 幅 (mm) 取付け工法 端部フラットエンド
31 床目地掃
(20.2.7)
床仕上げの異なる箇所には目地掃を入れる
32 手すり
(20.2.8)
形式 径 材質 仕上
33 ブラインド
(20.2.12)
形式 操作手法 種類 スラットの材質 スラット幅 6"×1/2"の材質 寸法、取付箇所
34 カーテン
(20.2.14)
形式 開閉操作 ひだの種類 商品名 (程度) 取付箇所 備考
35 カーテンレール
(20.2.14)
構造形式 構成基材の種類 総厚さ (mm) 表面仕上材
バネ内に取り付ける種員あり (※図示)
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標仕19章による。

37 コーナービード (壁ボード)
(壁保護金物)
38 天井見切縁
39 天井点検口
40 床点検口
41 仕上塗材仕上げ
(15.5.2)
種類 呼び名 防火材料 仕上げの形状等
3 錆止塗料塗り
(7.3.2.3)
錆止塗料塗りの種類
表6.16.2-5
表6.16.2-6
表6.16.2-7
表6.16.2-8
表6.16.2-9
表6.16.2-10
表6.16.2-11
表6.16.2-12
表6.16.2-13
表6.16.2-14
表6.16.2-15
表6.16.2-16
表6.16.2-17
表6.16.2-18
表6.16.2-19
表6.16.2-20
表6.16.2-21
表6.16.2-22
表6.16.2-23
表6.16.2-24
表6.16.2-25
表6.16.2-26
表6.16.2-27
表6.16.2-28
表6.16.2-29
表6.16.2-30
表6.16.2-31
表6.16.2-32
表6.16.2-33
表6.16.2-34
表6.16.2-35
表6.16.2-36
表6.16.2-37
表6.16.2-38
表6.16.2-39
表6.16.2-40
表6.16.2-41
表6.16.2-42
表6.16.2-43
表6.16.2-44
表6.16.2-45
表6.16.2-46
表6.16.2-47
表6.16.2-48
表6.16.2-49
表6.16.2-50
表6.16.2-51
表6.16.2-52
表6.16.2-53
表6.16.2-54
表6.16.2-55
表6.16.2-56
表6.16.2-57
表6.16.2-58
表6.16.2-59
表6.16.2-60
表6.16.2-61
表6.16.2-62
表6.16.2-63
表6.16.2-64
表6.16.2-65
表6.16.2-66
表6.16.2-67
表6.16.2-68
表6.16.2-69
表6.16.2-70
表6.16.2-71
表6.16.2-72
表6.16.2-73
表6.16.2-74
表6.16.2-75
表6.16.2-76
表6.16.2-77
表6.16.2-78
表6.16.2-79
表6.16.2-80
表6.16.2-81
表6.16.2-82
表6.16.2-83
表6.16.2-84
表6.16.2-85
表6.16.2-86
表6.16.2-87
表6.16.2-88
表6.16.2-89
表6.16.2-90
表6.16.2-91
表6.16.2-92
表6.16.2-93
表6.16.2-94
表6.16.2-95
表6.16.2-96
表6.16.2-97
表6.16.2-98
表6.16.2-99
表6.16.2-100

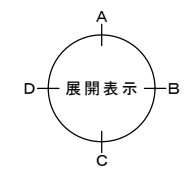
7 塗装改修工事
(続)
5 フッ素樹脂塗装
6 焼付塗装
8 環境配慮改修工事
1 分析による
2 アスベスト含有調査
3 アスベスト含有
4 アスベスト含有
表6.16.2-1
表6.16.2-2
表6.16.2-3
表6.16.2-4
表6.16.2-5
表6.16.2-6
表6.16.2-7
表6.16.2-8
表6.16.2-9
表6.16.2-10
表6.16.2-11
表6.16.2-12
表6.16.2-13
表6.16.2-14
表6.16.2-15
表6.16.2-16
表6.16.2-17
表6.16.2-18
表6.16.2-19
表6.16.2-20
表6.16.2-21
表6.16.2-22
表6.16.2-23
表6.16.2-24
表6.16.2-25
表6.16.2-26
表6.16.2-27
表6.16.2-28
表6.16.2-29
表6.16.2-30
表6.16.2-31
表6.16.2-32
表6.16.2-33
表6.16.2-34
表6.16.2-35
表6.16.2-36
表6.16.2-37
表6.16.2-38
表6.16.2-39
表6.16.2-40
表6.16.2-41
表6.16.2-42
表6.16.2-43
表6.16.2-44
表6.16.2-45
表6.16.2-46
表6.16.2-47
表6.16.2-48
表6.16.2-49
表6.16.2-50
表6.16.2-51
表6.16.2-52
表6.16.2-53
表6.16.2-54
表6.16.2-55
表6.16.2-56
表6.16.2-57
表6.16.2-58
表6.16.2-59
表6.16.2-60
表6.16.2-61
表6.16.2-62
表6.16.2-63
表6.16.2-64
表6.16.2-65
表6.16.2-66
表6.16.2-67
表6.16.2-68
表6.16.2-69
表6.16.2-70
表6.16.2-71
表6.16.2-72
表6.16.2-73
表6.16.2-74
表6.16.2-75
表6.16.2-76
表6.16.2-77
表6.16.2-78
表6.16.2-79
表6.16.2-80
表6.16.2-81
表6.16.2-82
表6.16.2-83
表6.16.2-84
表6.16.2-85
表6.16.2-86
表6.16.2-87
表6.16.2-88
表6.16.2-89
表6.16.2-90
表6.16.2-91
表6.16.2-92
表6.16.2-93
表6.16.2-94
表6.16.2-95
表6.16.2-96
表6.16.2-97
表6.16.2-98
表6.16.2-99
表6.16.2-100




② : 既存軒裏張替 14.85㎡

①~③ : ※A-13図参照

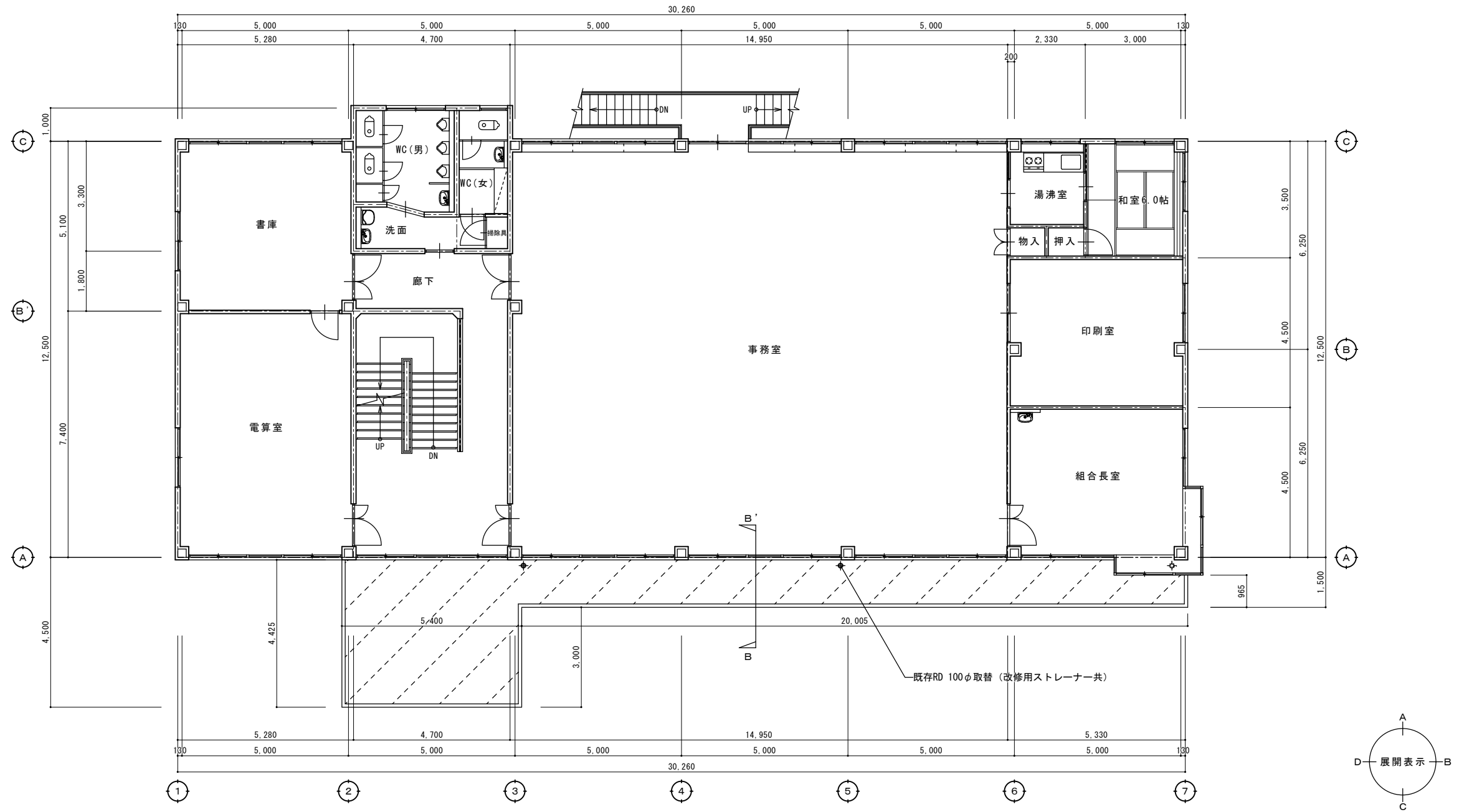
1階平面図 1/100



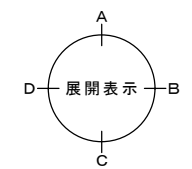
NOTE


 <p><b>鹿児島県経済連</b> 鹿児島県経済農業協同組合連合会一級建築士事務所 〒890-8515 鹿児島市鴨池新町15番地 TEL.258-5375 一級建築士292527号 増田 栄 史</p>	DATE 2024/09/30	TITLE 鹿児島県農業共済組合北薩支所川薩事務所屋根防水改修等工事	PART 意匠
	CHECK	CLASS	NUMBER A-7
	SCALE 1/100	GROUP 1階平面図	

⑤：既存防水層撤去の上、ウレタン塗膜防水（通気緩衝複合工法）  
※A-13図参照

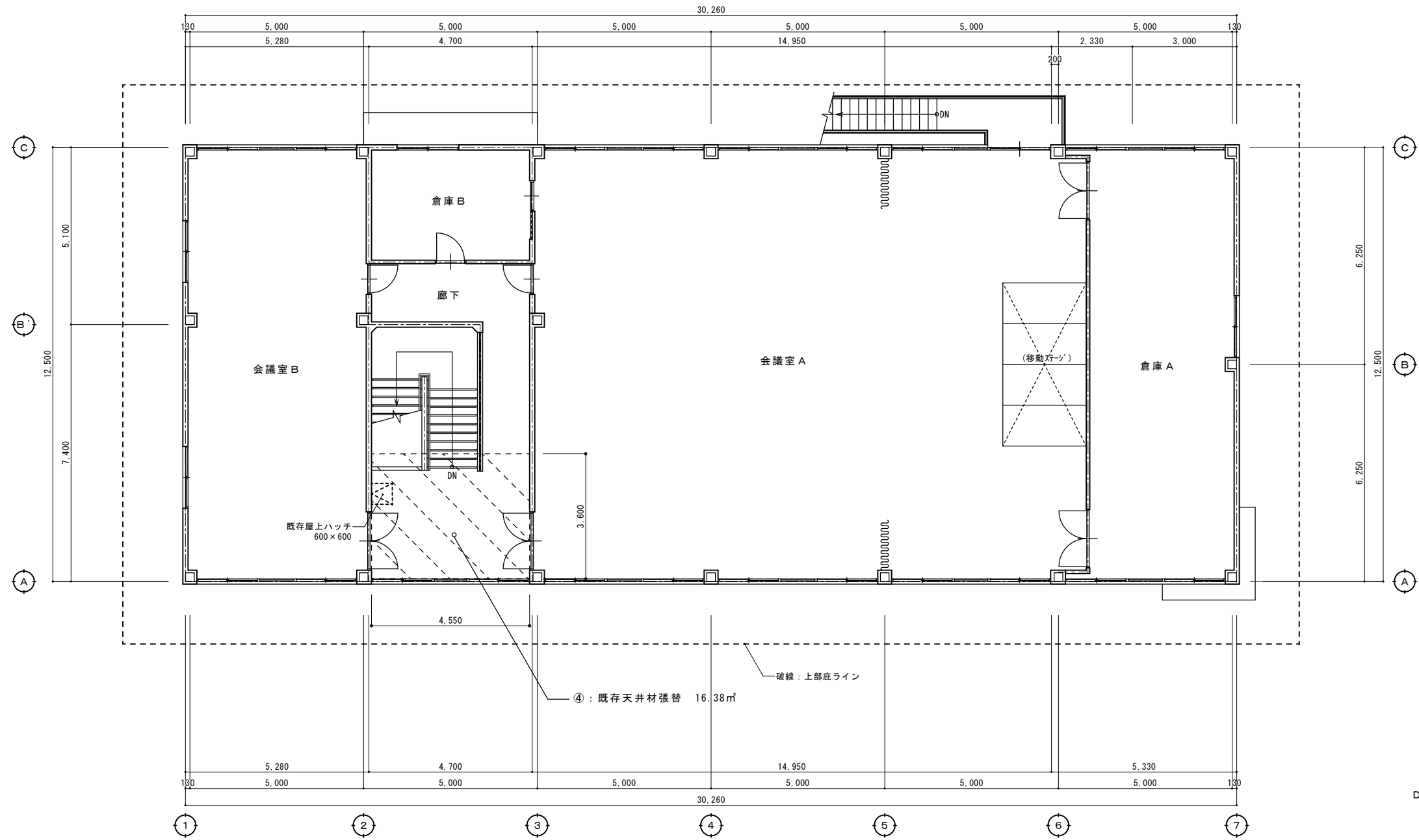


2階平面図 1/100

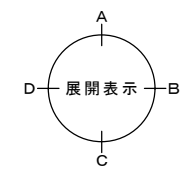


NOTE	 <p><b>鹿児島県経済連</b> 鹿児島県経済農業協同組合連合会一級建築士事務所 〒890-8515 鹿児島市鴨池新町15番地 TEL. 258-5375 一級建築士 292527号 増田 栄 史</p>	DATE	2024/09/30	TITLE	鹿児島県農業共済組合北薩支所川薩事務所屋根防水改修等工事	PART	意匠
		CHECK		CLASS		NUMBER	A-8
		SCALE	1/100	GROUP	2階平面図		





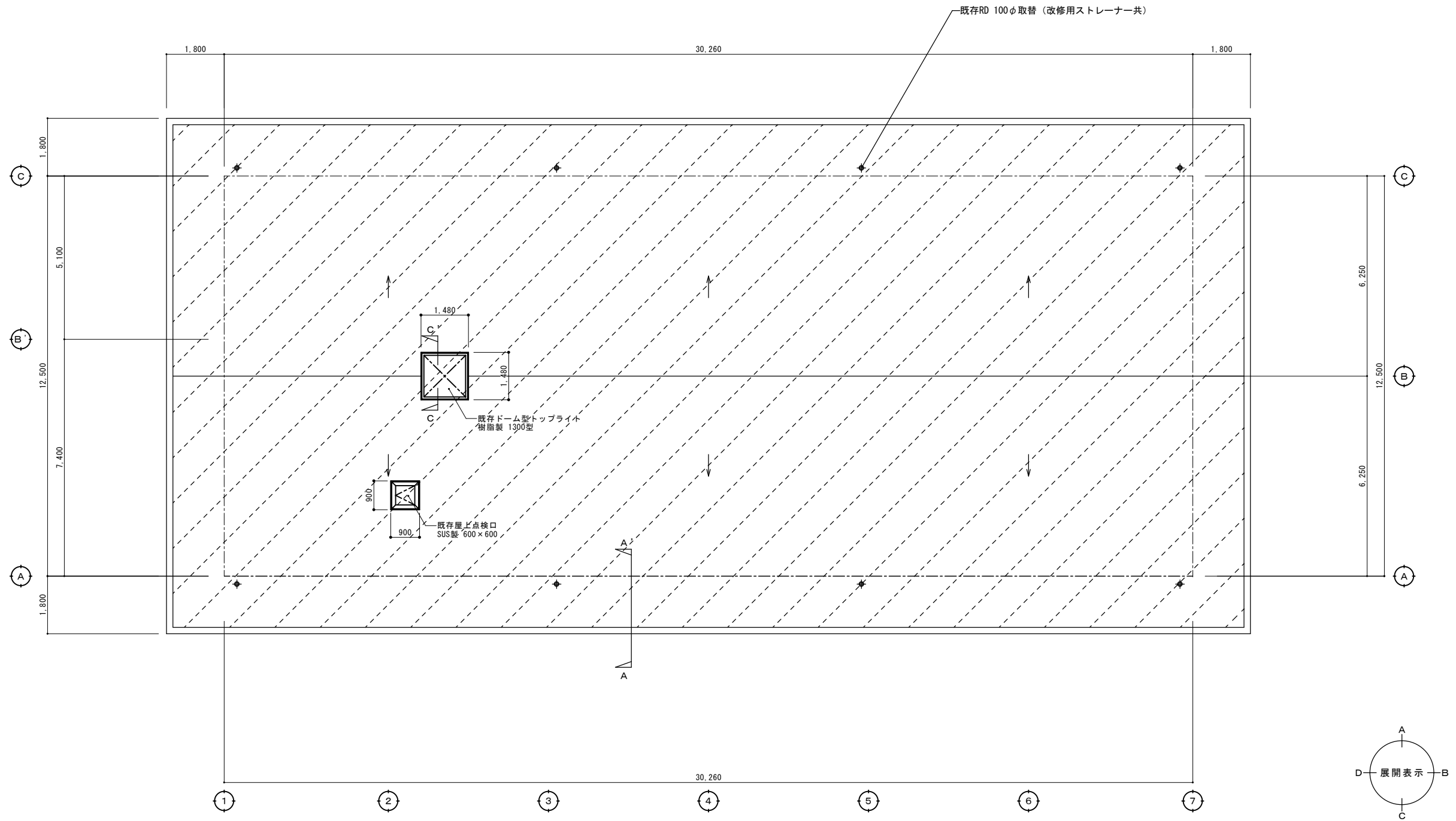
3 階平面図 1/100



NOTE

	<b>鹿児島県経済連</b> 鹿児島県経済農業協同組合連合会一級建築士事務所 〒890-8515 鹿児島市鴨池新町15番地 TEL. 258-5375 一級建築士292527号 増田 栄 史		DATE	2024/09/30	TITLE	鹿児島県農業共済組合北薩支所川薩事務所屋根防水改修等工事	PART	意匠
	CHECK		CLASS		GROUP	3 階平面図	NUMBER	A-9
	SCALE	1/100						

⑥：既存防水層撤去の上、ウレタン塗膜防水（通気緩衝複合工法）  
※A-13図参照

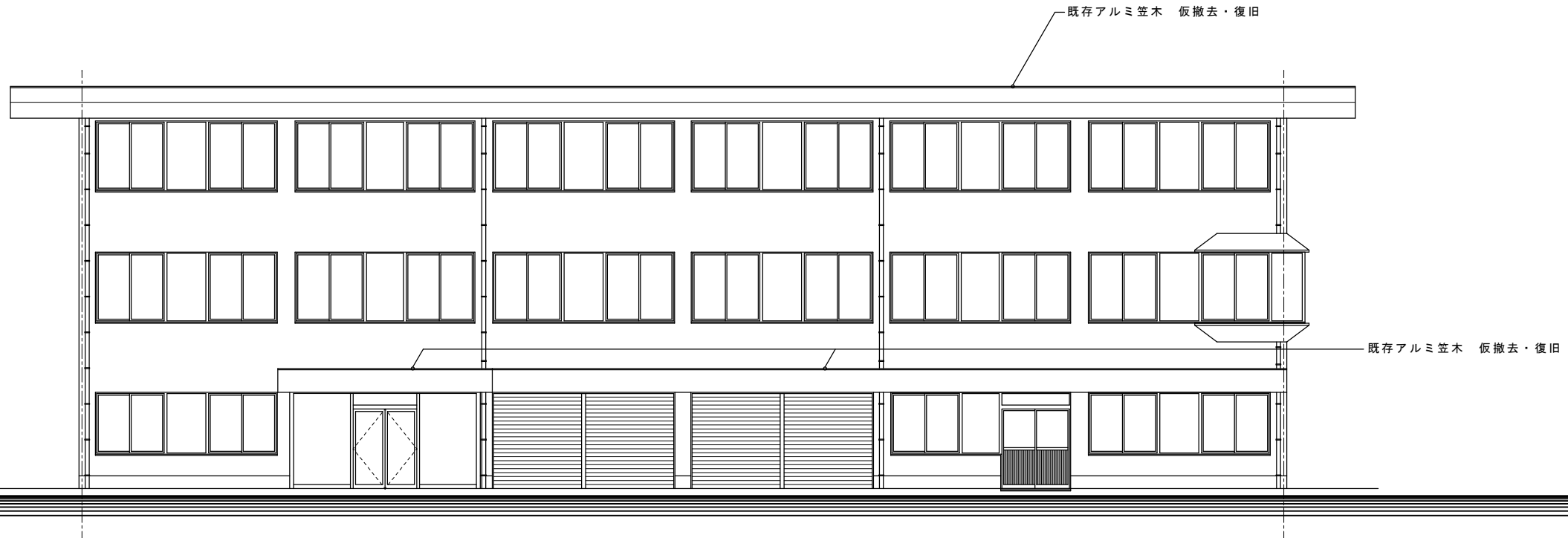


屋根伏図 1/100

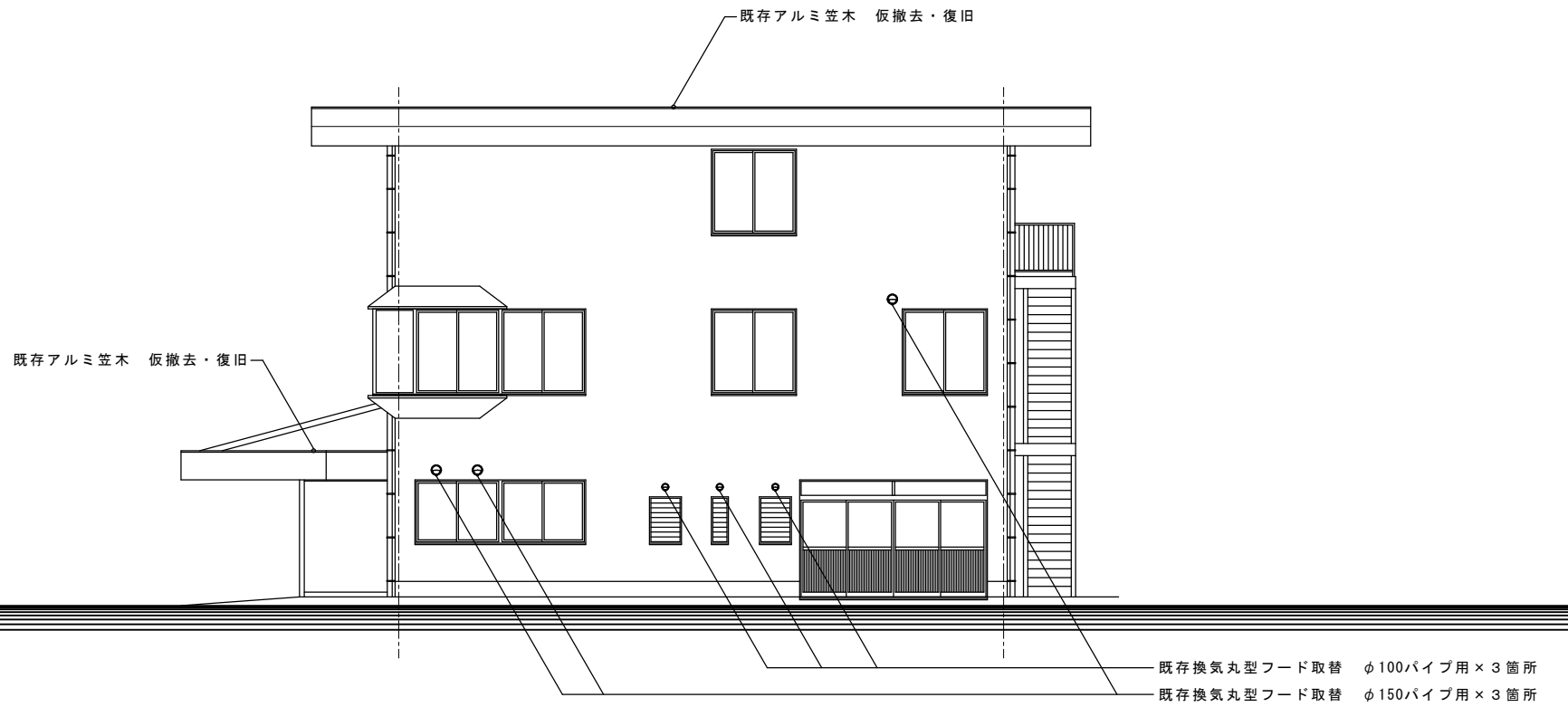
NOTE

.....

 <p><b>鹿児島県経済連</b> 鹿児島県経済農業協同組合連合会一級建築士事務所 〒890-8515 鹿児島市鴨池新町15番地 TEL. 258-5375 一級建築士292527号 増田 栄 史</p>	DATE 2024/09/30	TITLE 鹿児島県農業共済組合北薩支所川薩事務所屋根防水改修等工事	PART 意匠
	CHECK	CLASS	NUMBER A-10
	SCALE 1/100	GROUP 屋根伏図	



C 側立面図 1/100



B 側立面図 1/100

NOTE  
 .  
 .  
 .  
 .

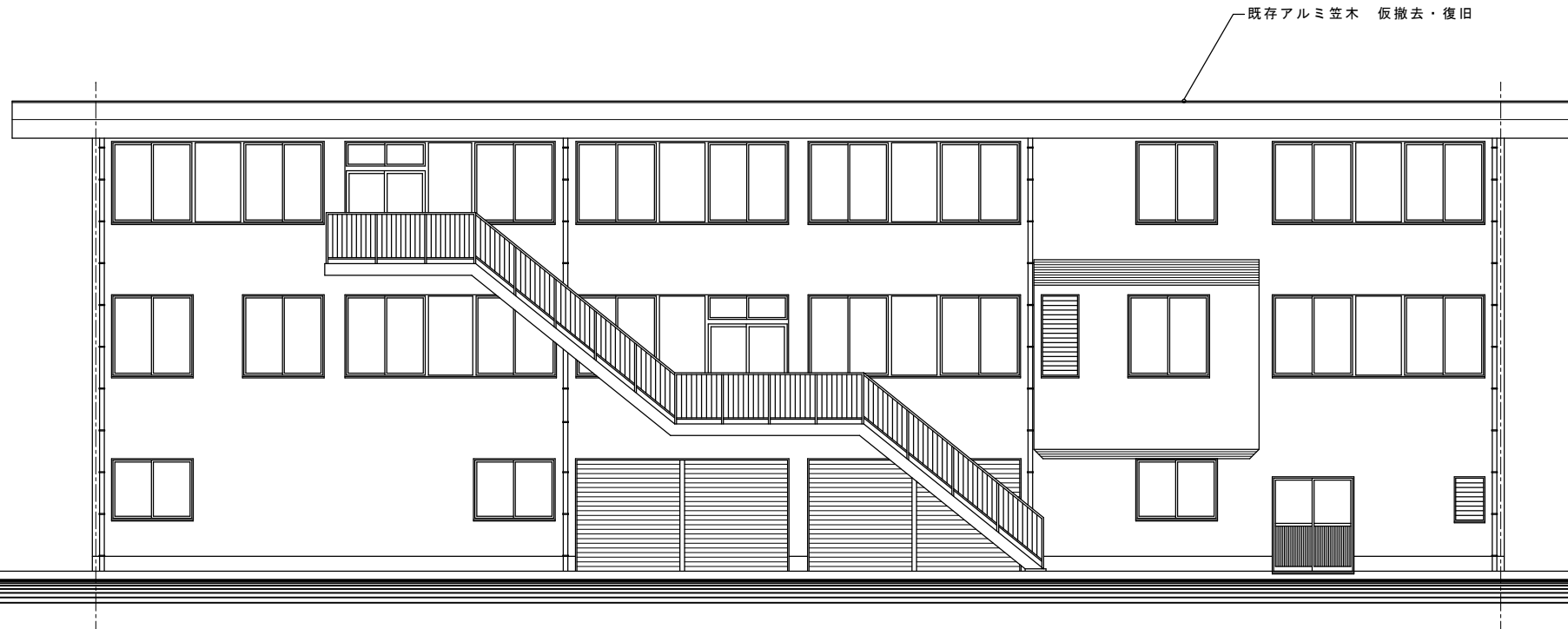


**鹿児島県経済連**  
 鹿児島県経済農業協同組合連合会一級建築士事務所  
 〒890-8515 鹿児島市鴨池新町15番地 TEL. 258-5375  
 一級建築士292527号 増田 栄 史

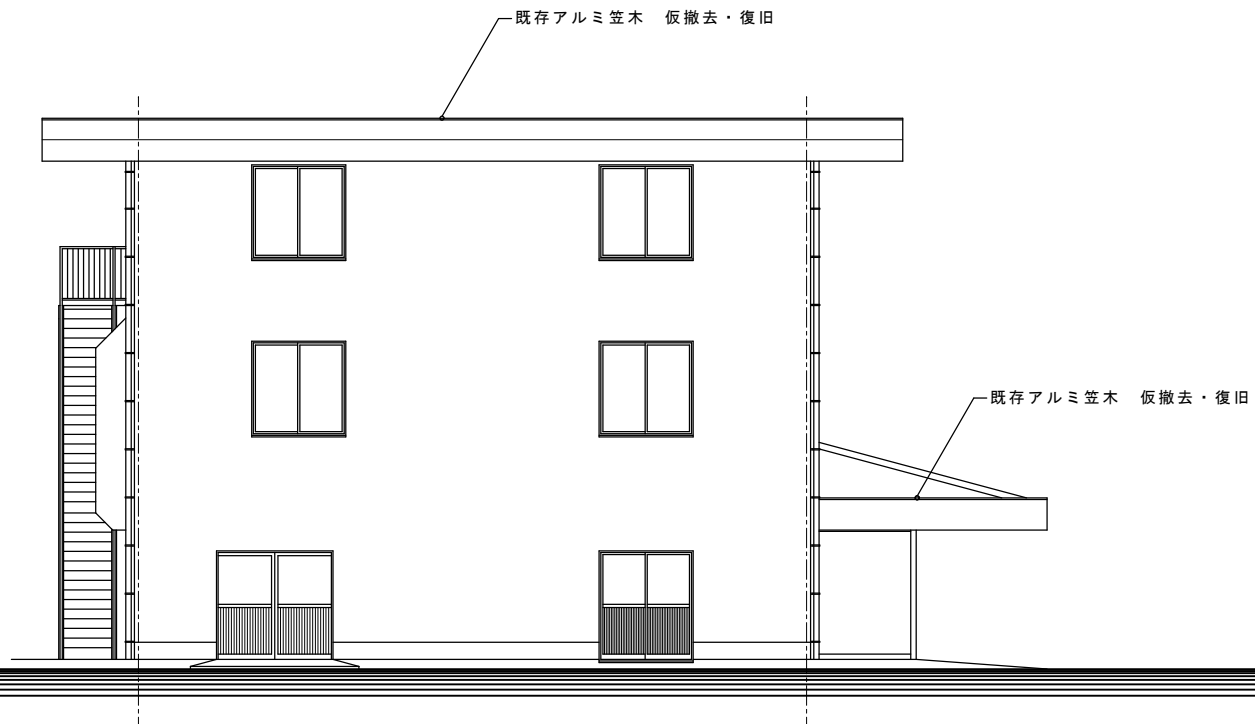
DATE 2024/09/30  
 CHECK  
 SCALE 1/100

TITLE 鹿児島県農業共済組合北薩支所川薩事務所屋根防水改修等工事  
 CLASS  
 GROUP 立面図 1

PART 意匠  
 NUMBER A-11



A 側立面図 1/100



D 側立面図 1/100

NOTE  
 .  
 .  
 .  
 .



**鹿児島県経済連**  
 鹿児島県経済農業協同組合連合会一級建築士事務所  
 〒890-8515 鹿児島市鴨池新町15番地 TEL. 258-5375  
 一級建築士292527号 増田 栄 史

DATE 2024/09/30  
 CHECK  
 SCALE 1/100

TITLE 鹿児島県農業共済組合北薩支所川薩事務所屋根防水改修等工事  
 CLASS  
 GROUP 立面図 2

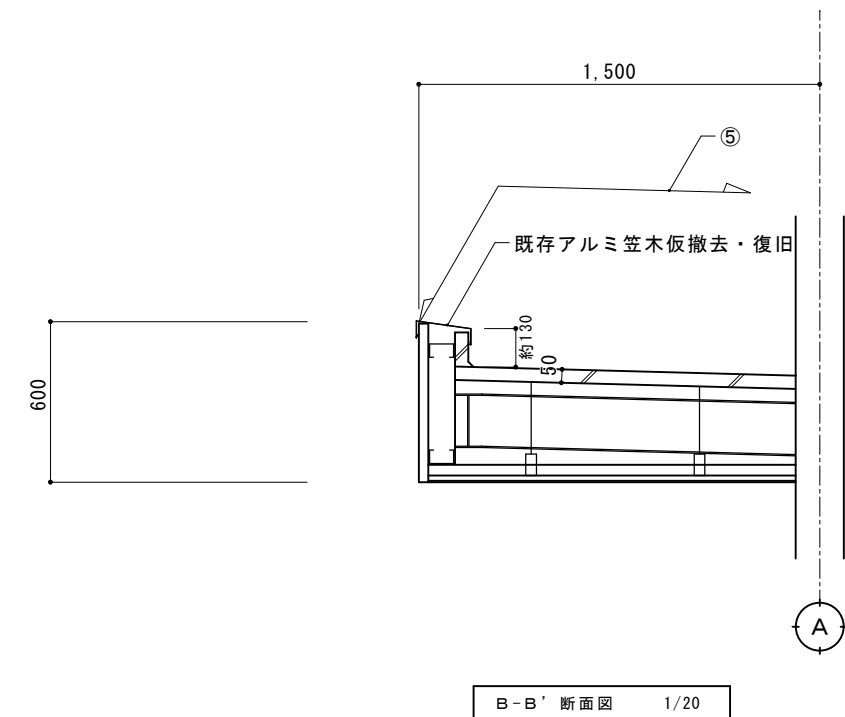
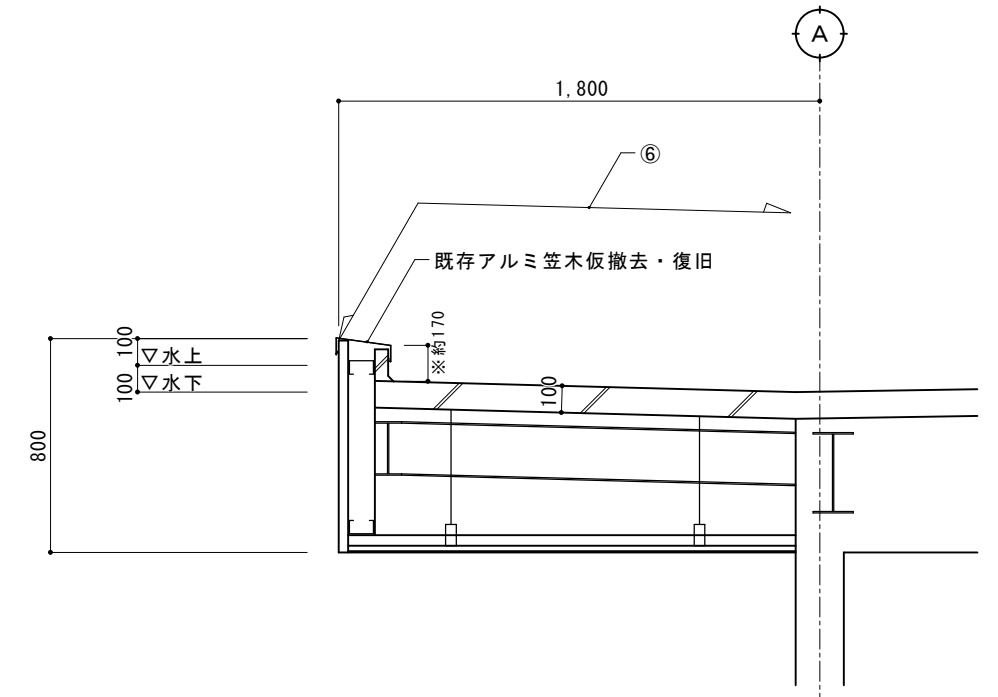
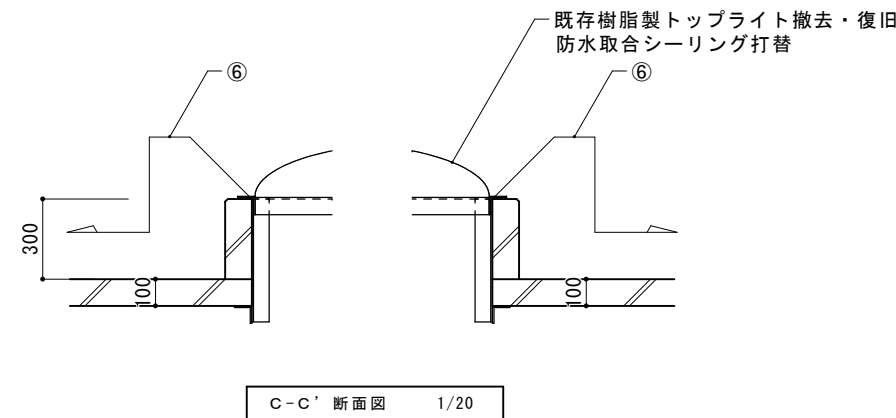
PART 意匠  
 NUMBER A-12

番号	改修前	改修後
①	PB張りt9.0下地の上 ダイロートンリブ張りt=15.0	既存天井材撤去の上 PB張りt9.5下地の上 岩綿吸音板張りt=15.0
②	PB張りt9.0下地の上 ダイロートン張り(外部用)t=9.0	既存天井材撤去の上 PB張りt9.5下地の上 岩綿吸音板張り(外部用)t=9.0
③	石綿ケイ酸カルシウム板t=5.0 目透かし張りVP塗	既存天井材撤去の上 ケイ酸カルシウム板t=5.0 目透かし張りVP塗
④	PB張りt9.0下地の上 ダイロートン張りt=9.0	既存天井材撤去の上 PB張りt9.5下地の上 岩綿吸音板張りt=9.0
⑤	既存ALC版t=50の上シート防水(非歩行用)t=2.0	既存防水層撤去の上既存ALC版下地処理・不陸調整・仮防水処理 ウレタン塗膜防水(通気緩衝複合法)脱気筒SUS製6箇所 ※防水仕様は下記参照
⑥	既存ALC版t=100の上シート防水(非歩行用)t=2.0の上 シラスバルーンペイント塗(旭化成ジオテック機)	既存防水層撤去の上既存ALC版下地処理・不陸調整・仮防水処理 ウレタン塗膜防水(通気緩衝複合法)脱気筒SUS製2箇所 ※防水仕様は下記参照

※防水改修仕様(工程・使用材料・使用料はカタログ施工要領による)

DPワンガード・ゼロ(シーカ・ジャパン株)「TVJ工法」通気緩衝工法 同等品以上		DPワンガード・ゼロ(シーカ・ジャパン株)「TVJ工法」通気緩衝工法 同等品以上	
平場(標準仕様「TVJ-0Z2」)		立上り(標準仕様「0ZW-2C」)	
工程	使用材料	工程	使用材料
1	・プライマーU	1	・プライマーU
2	・TVJシート ・ジョイントテープTM ・DFメッシュテープ	2	・DPワンガード・ゼロ(1成分形ウレタン防水材) 立上り用
3	・DPワンガード・ゼロ(1成分形ウレタン防水材)	3	・クロス(補強布)
4	・DPワンガード・ゼロ(1成分形ウレタン防水材)	4	・DPワンガード・ゼロ(1成分形ウレタン防水材) 立上り用
5	・Dトップ700	5	・DPワンガード・ゼロ(1成分形ウレタン防水材) 立上り用
		6	・Dトップ700

・現場監理において、監理者立会のもと、塗布量・塗膜厚の検査を実施する。



NOTE



**鹿児島県経済連**  
鹿児島県経済農業協同組合連合会一級建築士事務所  
〒890-8515 鹿児島市鴨池新町15番地 TEL. 258-5375  
一級建築士 292527号 増田 栄 史

DATE 2024/09/30  
CHECK  
SCALE 1/20

TITLE 鹿児島県農業共済組合北薩支所川薩事務所屋根防水改修等工事  
CLASS  
GROUP 凡例・詳細断面図

PART 意匠  
NUMBER A-13